

令和5年度 第1回都島区区政会議 会議録

1 日時 令和5年6月27日（火）午後7時～午後8時45分

2 場所 都島区役所 3階会議室

3 出席者

（区政会議委員）

池田委員・伊藤委員・猪原委員・江川委員・熊本委員・高野委員・谷委員・中口委員・中山委員・濱崎委員・早光委員・山田委員

（都島区役所）

藤岡区長・土居副区長・吉村総務課長・三井政策企画担当課長・松井まちづくり推進課長・細谷防災地域活性担当課長・高田窓口サービス課長・世古口保健福祉課長・清原こども教育担当課長・坂下健康推進担当課長・筒井生活支援担当課長

4 議題

- (1) 令和4年度運営方針の自己評価について
- (2) 区政に反映された主なご意見

5 会議次第

- (1) 開会（藤岡区長挨拶）
- (2) 議事

【吉村課長】

皆さん、こんばんは。本日はお忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

これより令和5年度第1回都島区区政会議を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます総務課長の吉村でございます。よろしくお願いいたします。

それでは初めに、区長の藤岡よりご挨拶させていただきます。

【藤岡区長】

皆様、こんばんは。昨年の民間公募からこの4月に都島区長を拝命いたしました藤岡でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ちょっと着席してお話しさせていただきたいと思います。

本日は大変ご多用の中、委員の皆様には区政会議にご参加いただきまして誠にありがとうございます。また、議員の皆様におかれましては大変お忙しい中、オブザーバーとしてお越しいただきまして感謝申し上げます。

ご参加の皆様には平素より市政、区政各般にわたりましてご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

私自身、初めて区政会議に参加させていただくということになりましたので、この場をお借りしまして少しお話をさせていただければと思っております。

区の目標といたしまして、安心のまち、ひとがつながるまち、明日に誇れるまちの実現に向けて、行政と区民、NPO、企業など、多様な主体にそれぞれの枠を超えて参画いただけるような取組を私としては進めていきたいと思っております。今日の複雑化した社会におきましては、一人一人の課題に寄り添って、異なる分野の人々がつながることで課題解決のためにできること発見しまして実行していくことが必要と考えています。そうした意味におきまして、区政会議は都島区の施策、事業の推進にとって大変重要であると考えております。

課題というのはたくさんあると思っておりますけれども、中でも安心して子どもを産み育てる社会環境、子どもの生きる力を育む環境整備が非常に重要と考えております。保護者の皆さんが自分らしく暮らしながら子育てを楽しむということが、子どもたちの心の豊かさを育み、生きる力を養うことにつながってまいります。地域の様々な主体と連携しまして、支援を強化推進していきたいとまず考えております。

もう一つ、安全・安心な暮らしを支えるセーフティーネットの強化のためには、社会的弱者のサポートなどが確実に実行できますように、地域住民による組織と行政が連携する必要があると考えています。区民自らが動機を持って組織活動に参加することを支援するために、住み続けたい、暮らしたいと思えるようなわがまち意識の醸成を図る必要があると考えております。そのためにも、2025年の大阪・関西万博を好機と捉えた地域の魅力づくり、そしてSDGsの推進、民間企業と連携したにぎわい創出にも取り組んでまいりたいと考えております。

本日は、令和4年度運営方針の自己評価についてご意見をいただくとともに、区政に反映された委員の皆様の主なご意見についてご報告をさせていただきたいと思っております。また、それをまとめながら、新しいアイデアも出していただいて、有意義な会議にさせていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【吉村課長】

それではここで、委員の皆様に会議の進行につきましてお願いがございます。議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音、撮影させていただいております。また、本日の会議はインターネット配信を行っております。以上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

それでは、定足数の確認をさせていただきます。本日の会議には、委員定数18名のうち12名の方がご出席されていますので、定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

また、平野委員、彦坂委員、前田委員、高田委員、鷹取委員におかれましては本日ご欠席との、また、西村委員は遅れて来られるとのご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。事前にお送りしていた資料といたしまして、右肩に資料1と記載しております「令和4年度運営方針の自己評価」、右肩に資料2と記載しております「令和4年度都島区運営方針」、右肩に資料3と記載しております「区政に反映された主なご意見」、以上が本日の資料となっております。おそろいでしょうか。お持ちでない方はお配りいたしますので、挙手をお願いいたします。大丈夫ですか。

続きまして、本日ご出席の議員の皆様方をご紹介させていただきます。

大阪市会より岡田議員でございます。

同じく大西議員でございます。

大阪府議会より魚森議員でございます。

荒木議員におかれましては、本日、所用により遅れて来られるとのご連絡をいただいておりますので、併せてご報告させていただきます。

それでは、これより高野議長に議事運営をお願いいたします。

【高野議長】

皆さん、こんばんは。友渕町在住の議長を務めさせていただいています高野勝正と申します。

本日は、区政会議の委員2年の任期における最終の会議となります。ご多用の中、皆さん出席いただきまして、ありがとうございます。

この区政会議も、私が2年前に就任したときにはコロナの真ただ中で、緊急事態宣言で行われなかったとき、あるいはオンラインで参加していただいた方が多かったというふうに記憶しているんですけども、あっという間の2年間で、その間に5月に2類から5類に新型コロナが移行しまして、お断りさせていただきたいんですが、私も今日はマスクなしで参加させていただいていますが、先ほど区役所の方に確認しましたら、もう5類に移行しているのももちろんマスクは任意ですということなので、もちろんマスクをして出席していただいても構いませんし、また暑い中ですので外していただいてもということで、自分の考えに応じて参加していただければと思います。私のほうはマスクを外させていただくので、お許しいただきたいと思います。

そして、皆さんにおかれましてはこの2年間、そして2期されている方は4年間会議に出席された方、とりわけ4年間された方については最後の区政会議の参加ということになりますので、議題（2）のところ、この後、方針の説明にもありましたように、資料1を使つての防災、防犯、それから安全で美しいまちづくりについての質疑応答が資料1を使つてそれぞれ区役所のほう、事務局から説明がありまして、それについての質疑応答が3回あります。その後、8時過ぎを予定していますが議題（2）区政に反映された主な意見について、資料3を使つてこちら事務局より説明いただきます。これについても質問、それからアイデアをいただくんですけども、そのところで、質問、ご意見に加えて、最初の1から3のところは挙手にて任意で意見、アイデア、啓発の考えのある方に発言をいただきたいんですけども、最後の議題については、ご質問、ご意見に加えて、任期を振り返りましてのご感想とか思いを全員にさせていただこうかなと思っていますので、ぜひ、参加していただいているので、していただけるかなと思いますので、特に4年間の方については最後のお願いというか、無理なお願いになりますけれども、ぜひ区政のために一言ずつ感想、思いをしていただければと思いますので、8時過ぎを予定していますので、それまでに考えておいていただければと思います。よろしくお願いします。

では、議題に入ります。

まず、議題（1）令和4年度運営方針の自己評価についてです。安全・安心のまちづくり、1-1、防災のまちづくりについて、事務局、三井政策企画担当課長よりご説明をいただきます。お願いします。

【三井課長】

お世話になっております。事務局の政策企画担当課長、三井でございます。失礼して座らせていただきます。

ただいま議長からお話のありました令和4年度運営方針の自己評価につきまして、まずは資料1の1ページ目の

ほうを簡単にまず触れさせていただきたいと思っております。

このたび、令和4年度運営方針につきまして、取組の振り返りとして自己評価を行いました。1年間の取組成果と振り返りの概要といたしまして、各経営課題における戦略の進捗状況及び成果指標の目標達成状況を表のほうで一覧にしております。表に記載のとおり、経営課題1、防災、防犯、安全で美しいまちづくりについて、目標未達成のため順調でないというのが挙がっております。詳しくは次のページからご説明し、ご意見をいただきたいと思っておりますけれども、表の下に記載しておりますとおり、コロナ禍の影響等により啓発活動の機会が減少したことなどが影響していると考えられまして、その点につきましては、コロナが明けたことによって一定の改善が見込まれるものと考えているところでございます。

なお、目標未達成の各取組につきましても、それぞれの課題解決のためには必要不可欠な取組ですので、その取組の方法を検討しつつ、取組自体は継続して行うこととしております。

それでは、次の2ページ、1-1、防災のまちづくりのページをご覧ください。

防災のまちづくりにつきましては、先ほど一覧で挙げておりました「順調でない」、目標未達成の内容について抜粋してこちらに記載しております。

まず、戦略の進捗状況ですけれども、具体的取組1-1-1、自助の取組の推進におきまして、災害への備えの重要性に対する意識が高まったと感じる出前講座受講者の割合が、目標70%以上に対し、68%で未達成となっております。また、取組の成果指標として、区民アンケートにおきまして調査を行った結果、災害への備えができていると回答した区民の割合が、令和5年度までに75%の目標に対しまして、令和4年度、58%、また、災害が起きたときに避難する場所を知っていると回答した区民の割合も、令和5年度までに85%の目標に対し、令和4年度、69%と、目標未達成となっております。

その下の今後の取組についてにおきまして、その結果を受けての取組方針について記載しておりますけれども、防災訓練参加者アンケート、区民アンケートとも共助の重要性を認識している割合は目標を上回っておりますが、災害への備え、自助ができている区民の割合は依然として目標を下回っているところです。コロナ禍による社会的影響が限定的となってきたことから、自助、共助の重要性を広めるため、広報誌での情報発信のみならず、出前講座等の機会において、災害への備えの重要性を理解してもらえよう、分かりやすい啓発活動を強化していくこととしております。

区役所としましては、そのような対応方針を考えておりますけれども、下の四角囲みに書いておりますように、区政会議の委員の皆様から災害への備え、避難する場所の認知度の向上につながるアイデアですとか取組などについてご意見をお聞かせいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【高野議長】

まず、議題の1-1、防災のまちづくりについての説明をいただきました。今説明いただいた内容を踏まえて、もう少し説明をいただきたいということであるとか、今事務局からのお話もありましたように、災害への備えとか避難する場所の認知度、こうすればもっと上がるのではないかと、そしてコロナなどもありまして思うように啓発活動がなかなかあったんですけれども、今後このようにすればいいのではないかとというアイデアや取組など、ご意見がありましたらお願いしたいと思っております。ご意見、ご質問がございましたら挙手をお願いしたいんですけれども、いつものように協議会の名前やお住まいの地域とお名前をおっしゃっていただく

と、ネットで配信していますので、非常に分かりやすいという意見があったので、それを続けたいと思います。そして、お答えいただくのは担当部署の各課長にお願いしたいんですが、そのときもご面倒なんですけれどもお名前と課の名前、何々課の何々ですというふうにおっしゃってお答えいただけると分かりやすいかと思います。

それでは、お願いします。

では、中口委員、お願いします。地域名とお名前、改めてお願いします。

【中口委員】

桜宮地域の中口といいます。よろしくお願いします。

災害への備え、避難する場所の認知度の向上というのは、全世帯にハザードマップは行っとるんですよ。大阪市は全世帯に。それを新聞広告で入ったみたいにぽっと捨てているか捨てていないか、個人の問題になっちゃうんですけど、それもハザードマップの中にも南海トラフ、それから高潮、地震、内水氾濫とかいろいろなものが出ているんですけど、それについてどうするかというのを一つずつ各地域ごとでいろんな講習とかそういうのを各町内会の掲示板でもぽんと貼っていけばいいと思うんですよ。ほかの区とかやったら、毎月防災その1、その2とか出している区もありますから、警察とこっち側のまちづくりの担当と連携してどんどんそういうのを貼っていったらいいと思うんですけど、今とにかく、去年の6月から、警察とやり合うたわけではないんですけど、警察の案内板が町会に貼りませんから、だからそのことは置いといても、消防から頂く書類とかそういうのも連合を通して来たら何ぼでも貼れるので、それで地域に知っていつてもらったらいいいと思いますし、大阪には毛馬の閘門のところに排水機場があって、その手前の城北川のところにも水門があって、そういう見学会も何ぼでもして、何のためにこの排水機場があって、中でポンプ、直近4メートルのプロペラが6台あって、ば一と回ったら25メートルプールの水がびゅっと何秒かで外へ出せるという、そういうのがあって災害から守っているという大阪市の宣伝もせないかんと思うので、そういうのを定期的にやっていただいたら、ほんまに地域の方も参加されるんじゃないかなと思います。

それと、各地域ごとに毎年防災訓練やっているんですけど、やっているところはやっているし、やっていないところはやっていないし、来る人は一緒やしというところもあるんですけど、年に4回ぐらい、そういう種類別に分けてするとか、いろんな方法で地域の方に知っていただいて、とにかくローリングストックで1週間、1日3リットルの7日分の人数分の水だけ置いとくとか、そういう話をどんどんとみんなに伝えていくような広報をするなり、町会の回覧のあそこの掲示板にどんと貼るなりしたら、もっと行くんじゃないかなと思います。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

今のご意見、アイデアに対して、事務局のほうから何か取組があったりとかお答えいただけるようであれば。では、細谷課長ありますか。お願いします。

【細谷課長】

防災地域活性担当、細谷です。よろしくお願いします。

今、中口委員からご提案いただいた地域の掲示板ですね。とてもありがたいお話なので、ちょっとその辺の

ところ考えさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それと、毛馬の排水機場なり抽水所、水門、その辺の働きなんかについても掲示板なんかでお知らせさせていただいたらと思いますので、またよろしくお願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。

そのほかに、うちの地域ではこのような啓発を独自にやっている、あるいはこういう取組を区役所ではしてほしいなど、意見、ご要望、アイデアなどありましたらどんどんお寄せいただきたいと思います。

では、早光副議長。

【早光副議長】

東都島地区の早光です。よろしくお願いいたします。

東都島地区の防災についてですけど、私、町会の代表をしております、防災訓練といいますか、備蓄倉庫の確認とか、かなりの頻度で開催していただいております。これは非常にありがたいと思います。私の地区でいくと桜宮中学校と東都島小学校があるんですけれども、そこでも備蓄の確認。備蓄の確認したところ、水が何本と、そういうふうに法定で決まっているんですかね、そういうものがあるんですけど、実際それが避難したときにそんなにもたないということもよく分かっております。あと、この前、区でいただいた防災訓練は、発電機の使い方とか段ボールベッドの組立てとか、それは広く女性の方にも来ていただいて実際に体験していただくという貴重な経験させていただきましたので、これは非常にありがたいと思うので、本当に簡単なことの開催ですよね。やっぱり裾野を広げていくことが自助、公助になっていくのかなと思っておりますので、本当に私よく行かされるので減らしてほしいという気持ちもありながら、やっていただきたいと。

あと、ハザードマップの件ですけども、SNSもそうなんですけど、回覧板を見られる方が多いんですが、ただ、回覧板は町会に入会されている方しか見ることができないということで、今半分か3分の1ぐらいしか入会されていないので、防災マップを回覧板で回せば、それでも3分の1の方の目に触れるということで、回覧を各連合で回していただくということをする、2回か3回とかかなりの方の目に触れることができますので、それも印刷費用がかかるかもしれませんが、回覧で発信するということをしていただくと、よりいいんじゃないかなと、かように思います。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

そのほかにご意見。では、先に江川委員からお願いします。マイクをお回ししますので、お待ちください。

【江川委員】

一般公募の江川です。

区民アンケートというのは、そういう防災訓練を受けた人の中で取っているのかとかによっても変わってくると思うんです。さっきの早光副議長が言っていたのと一緒になるんですけど、実際、町会に入っていない人はまず見ていない。京橋は単身世帯の若者が多くて、私自身がまちづくりをやっているのと子ども食堂をやっている、小さい子どもとかのお母さんの声聞いている、どこに行ったらいいとか知らない人が多々い

るので、実際この数字がほんまにそこまで知られているかというのは分からないかもしれないです。この前の土曜日、防災リーダー訓練みたいなのが区民センターであつたんですけど、そのときに町会の方が、うちの町会は、町会の人間しか入れたくないとかと言うてる方もいたので、そうなってくると、いろんな人に周知してしまうと、町会のお金を払っていない人を小学校とかに受けなあかんようになってきて、帰宅困難者も絶対に京橋から出てくるので、そういう方も受け入れたら、食材なんかも全く足りなくなると思うんです。周知して広めるのはいいんですけど、それプラス、町会だけの力じゃなくて、共助でどこか企業さんとかも一緒にそういう避難所とかをつくってもらうとか、これからつくっていったらもっといいと思います。この数字自体が悪いとかじゃないんですけど、結局は町会の訓練に出ている人の数字なのかどうかというのによって全然違うので、そこを考えてこれから来年以降やっていったら、もっといいまちになると思います。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

谷委員にちょっとお待ちいただいて、細谷課長にお答えいただきます。お願いします。

【細谷課長】

防災地域活性担当、細谷です。

まず、マップ等の回覧等について、ちょっと予算的なものもありますので、印刷がそのぐらい間に合うかどうか分からないんですけども、何かの形で回覧板に回せるような方法をちょっと考えていきたいと思います。よろしくお願いします。

次に、江川委員のおっしゃっていた企業なんかも避難所の運営に参加していただければというようなことなんですけれども、とてもありがたい話です。うちの区役所、大規模災害時協力事業所制度というのがあります。ちょっと宣伝が足りないかも分かりませんが、区内の営業所、販売所、会社の方々に声をかけて、何らかの形で災害時協力してくれへんかというような呼びかけをさせていただいています。例えば避難所で炊き出しを手伝っていただくとか、避難所の運営を手伝っていただくとか、例えば帰宅困難者があふれたときに滞在場所として会議室とかを貸してくれへんかとかというような取組もさせていただいております。そういう企業、お店、商店街、いろんなところご協力いただけたらありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

【高野議長】

続いて、三井課長にお話しいただきます。お願いします。

【三井課長】

政策企画担当課長、三井でございます。

今、江川委員からご質問もありました区民アンケートについて説明させていただきます。区民アンケートと単純にこの資料で言葉が何回か出てきますけれども、これは無作為で区民の方1,500名にアンケートを送りまして、大体五、六百ぐらいの回答をいただいているものですので、例えば訓練参加者とか、区民アンケートというのはそういった無作為で回答いただいているアンケートということでよろしくお願いいたします。

以上でございます。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、お待たせしました。谷委員、マイクをお回ししますので、ご意見お願いします。

【谷委員】

淀川の谷です。よろしくお願いします。

先ほど中口委員が言っていた毛馬閘門のことなんですけれども、うちは地域的に毛馬閘門が近いので、コロナ前に2回ほど見学させていただきました。申し込めばどこの地域でも見学させてもらえると思うので、声かけしてもらったら大丈夫。各連合で多分されたいんじゃないかなと思います。生涯学習のほうで私のほうはさせていただいたんですけれども、すごく勉強になりました。中が見れてとても感動しました。こういったことされているんだなというのをやっていたので、役所のほうでもどんどんアピールしてください。

それと、防災マップのことなんですけれども、何年か前に各戸、戸配、全部させていただいたと思うんですけれども、皆さんマンションのチラシと思って捨てた方が多いという意見も聞いているんです。うちの地域でも、え、あれそうだったのとか、見ないでそのまま新聞入れに入れてしまったわという方も多かったので、また再度そういうのがあれば全戸配布していただけたらなと思います。

それから、先月、女性部のほうなんですけれども、また防災講座をさせていただいたんです。9連合集まって。そのときに、災害時避難場所では何が必要かなという話をさせていただいて、避難所に来られた方の受付とかで、やっぱり健常者だけではないので、手話講座をしてほしいと区役所の方をお願いしたら、都島区災害時お助け隊、M-sotの方が来ていただいて、ちょっと短い時間だったんですけれども、すぐ通用するような簡単な手話を教えていただいたので、そういう講座をどんどんしていただけたらなというのがありますので、よろしくお願いします。

【高野議長】

それでは、細谷課長にお答えいただきます。

【細谷課長】

防災地域活性担当課長、細谷です。

谷委員からおっしゃっていただきました、この間、都島区防災女性の輪という女性の方々と結成されている防災の集まりのほうで、M-sot、今おっしゃっていただきました都島区災害時お助け隊の中の手話を担当しているボランティアの方々に来ていただきまして、僕もちょっと忘れてしまったんですけれども、何個か教えていただきました。あと、そのM-sotというのは外国語の方もいてはりますので、外国語で何か教えてもらうという機会もあります。ただ、外国語のほうは指さしボードというのが避難所のFMB、ファーストミッションボックスの中に入っています。避難所に来たら、指さしたら、あなたのお名前何ていうのというのを指さして分かるようなボードが入っていますので、ちょっとこの場を機会にお知らせさせていただきたいと思います。ファーストミッションボックスという箱が避難所の中にあまして、その中に指さしボードといって、あなたのお名前はとか、何か困ったことがありますかというのを外国語で書いてあって、日本語でも書いてあって、お互いに指を指しただけで何を外国のほうと言いたがってはるかというのを、3か国語か4か5かそのぐらいの言葉で書いてありますので、大概それで分かるというふうに危機管理室のほうから言われていますので、そんなものも用意しているということをお知らせさせていただきます。よろしくお願いします。

【高野議長】

ありがとうございました。

それでは、お時間のほうが迫っていますので、山田委員で最後とさせていただきます。マイクのほうお返しします。

【山田委員】

内代連合の山田といいます。よろしくお願いします。

今の問題で、災害が起きたときに避難する場所を知っている回答が少ないと。内代は、内代公園という大きいところがあるんですけども、それと児童遊園、それから小児童公園があるんですけども、どこへ避難するかというのは皆さんおのこの自分でしていくと思う。その公園のすぐ道路を挟んで東に小学校があるんですけども、そこへ避難する道の道しるべというんですか、それがなかなか少ないと思うんです。だから、ハザードマップ等々は配っていただいても、それを見ている人もおられたり見ていない方もおられる。ただ、常に道路に何か所か標識があれば、常に人が往来するので、それは目につくんじゃないかな。ただ、それを設置するのに、柱を立てるのが大変だから、例えば関電さんの柱にするとか、あるいは何かポールが立っています、そこへつけるとか、そういった方法も一つじゃないかなと思うんです。ただ、城北通りには大きい看板が立っていますのでよく分かるんですけども、ただ、地域に来たときになかなか目につく箇所が少ないので、もし予算があればもう少し数を増やしていただけたらありがたいかなと思います。

【細谷課長】

防災地域活性担当課長、細谷です。

今山田委員がおっしゃっていた、ちなみに避難所を案内する道しるべというか看板は、関電柱に、緑色の屋根がついて人があっちという矢印ついた道しるべが割とついていると思うんです。ちょっと目立たないかも分かりませんが。それと、山田委員がおっしゃっていた城北公園通りに1個ついてあるというのは、多分城北公園へ行く、広域避難場所へ誘導する大きい看板だと思うんです。2種類の看板がついています。避難所へ誘導する電柱につけている看板と、一個物の大きな広域避難場所を指している看板、2種類あると思いますけれども、山田委員がおっしゃっている電柱につける道しるべ的なこのぐらいの緑の看板は、たしか1枚10万円ぐらいするんです。ちょっと高いので、ようけは危機管がつけてくれるか分からないんですけども、もう一度、適正な場所にあるかどうかというのはまたうちのほうで点検はさせていただきます。よろしくお願いします。

【高野議長】

ありがとうございました。活発なご意見、ご提案ありがとうございました。

それでは、議題の2番に移りたいと思いますので、1-2、防犯のまちづくりについて事務局よりご説明をお願いいたします。

【三井課長】

事務局からご説明いたします。

3ページ、1-2、防犯のまちづくりのところですけども、防犯のまちづくりにつきましては、成果指標、区民の防犯意識の向上が、街頭における犯罪の発生抑止につながっていると感じると回答した区民の割合が、目標70%を維持に対しまして、令和4年度、61%と、目標未達成となっております。今後の取組につきましては、

警察と連携した防犯啓発活動の継続や、SNS等による積極的な情報発信などもあって、区内犯罪発生件数は減少している状況ですけれども、コロナ禍による社会的影響が限定的となってきましたことから、より効果的な啓発のため、警察との連携を強化した上で、各種イベントの開催や告知にも力を入れていくこととしております。

この取組につきましても、区政会議の委員の皆様から効果的な啓発活動についてのアイデアや取組などについてご意見をいただきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

【高野議長】

ご説明ありがとうございました。今ご説明にもありましたように、これからもさらに防犯意識を高めるために効果的な啓発活動、こういったことをやればいいんじゃないかというアイデアや取組などについてのご提案、あるいは意見などありましたら、こちらも挙手でお願いします。

山田委員。マイクをお回しします。

【山田委員】

内代の山田です。

防犯なんですけれども、防犯カメラの設置数がすごく少ない。お聞きすると、費用的なものと、それをメンテするのに各地域でしてくださいねというところがあるので、なかなか地域としてはそこまで入っていく予算等々がないわけですね。それをつけているよというのも、もう少し分かりやすい表示方法をしていただけたらなど。内代も学校のところに1台と、城北筋でも3台ぐらいしかついていないと思うんですね。それと地域に入っても。希望は出すんですが、なかなか回らないというのが現状。じゃ、地域でつけてねって、年間に何十万という費用もかかるし、メンテするのにもなかなか費用がかかる。その辺をどのように。もう少し増やしていただいて、ここにこんながついているよというところを、大きく何かの方法でPRしていくのも一つの方法かなと私は思うんですけど。

【細谷課長】

防災地域活性担当、細谷です。

山田委員のおっしゃっていただきました防犯カメラについて、都島区内、結構ついています。区役所がつけたもの、以前市民局がつけたもの、その前にも重点でつけたもの、それで山田委員がおっしゃっている補助でつけたもの。補助を出すから、地域であと面倒見てねといってつけたもの。結構、数的にはついてあると思います。

それから、表示ですけれども、必ずその電柱には防犯カメラ設置というふうに、我々がつけたものも地域で補助でつけていただいたやつも分かるように表示をしています。

それと、今山田委員おっしゃったとおり、カメラもだんだん値段が上がってきてまして、去年あたりまで大体20万円ぐらいで割とWi-Fiのいいカメラがついていたんですけども、聞くところによると、ここのところの世界の情勢から、部品がなかなか供給ができないということで、30万ぐらい、10万ぐらい上がってるのちゃうかなというようなことを聞いております。それと、ご存じのとおり電気代も上がっていますので、維持費なんかも確にかかるとは思っております。区役所のほうでは計画を立てているんですけども、今年も入れて3年間ぐらいはちょっとずつでも増やそうという努力はしております。大体1年間に五、六台ずつぐらいはつけていこうかなと考えています。プラス、10年ぐらいたって古くなったやつも更新していくということも考えています

けれども、新たには五、六台ずつぐらいはつけれたらなということで、予算は何とか取ってきております。

つける箇所については、日頃我々地域でお話ししている中で、ここにあったらいいのになというのをメモしておきまして、あとは警察のほうと協議をしまして、警察は警察でここが犯罪が多いところやとか、ここがごみをようけはられて地域の方から意見をよく聞くところやというところで、警察は警察でメモしていますので、それを突合しまして、我々の思いと警察の思いとをがっちゃんして、どこが最適かなということで設置はさせていただきます。

なかなか一遍に20台、30台となると難しいので、ぼちぼちと計画を立てて、1年に五、六台ずつ。もうちょっと、7台ぐらいつけれたらなと思うんですけども、先ほど申しましたとおり、カメラの値段もちょっと上がってきていますので、1台につき10万上がると、3台つけようと思ったところが2台しかつかないようなことにもなってきていますので、ただ、何とか皆さんのご期待に応えられるようなことには頑張っていきたいと思っております。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございます。

ほかにご質問やご意見いかがでしょうか。

では、熊本委員。マイクをお返しします。

【熊本委員】

西都島の熊本と申します。青少年指導委員のほうもやっております。ふだん、委員では各校区で、通常は青少年指導委員とか福祉委員とか、あとPTAの方々と協力して月1回見回りのほうをしているんですけども、コロナのほうも大分ましになってきたので、今年に限り、8月2日に拡大指導ルームといいまして、警察の方や各種団体、関係団体の方と協力しまして、区内全域を巡視する計画のほうを立てております。会長のほうからまた各関係団体の長の方へはご案内するかと思いますので、ご協力のほうよろしく願いいたします。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございます。

防犯カメラの話などもありましたけれども、うちの地域ではこのようにメンテナンス費用など賄っていると、あるいは地域でこういう取組をしているといったご意見でもいいかと思ひますし、また事務局や担当課へのご質問も引き続きお願いします。ほかにございませんでしょうか。

では、早光副議長。このマイクお使いください。

【早光副議長】

東都島地区一般公募の早光です。

私どもの地区というか町会では、平成21年でしたか、補助金で防犯カメラ設置。間違っていますかね。それぐらいの記憶なんですけど。そのときに補助金いただいて6台設置しました。そのときに、私どもの東都島地区の連合の町会ではほとんど興味を示されなかった。一緒にやりませんか。そのときに1台30万で180万。補助金が幾らあったかちょっと失念しておりますが、一応つけました。やはり危険箇所、京橋の商店街の東側が17

町会ということがありまして、やはり暗いところに防犯カメラをつけるとかなり犯罪の抑止になったと。今もなっているんですが。時代を経て、老朽化でこのたび3台を町会費で入れ替えました。先ほど細谷課長が言われましたように、半導体の高騰でなかなか苦戦したんですけど、古紙回収とかそういった形のボランティアでこつこつとお金をためまして、何とかかんとか3台を入れ替えてやったので、古紙回収とか地道に町会でお金を工面していったら、3年に1個ぐらいはカメラをつけていって、危険なところからクリアしていけば、割とちょっとずつでも進んでいくんじゃないかなという経験です。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。

では、伊藤委員、お願いします。

【伊藤委員】

東都島まちづくり協議会の伊藤といいます。よろしくお願いします。

ちょっと勉強不足で質問になるんですけども、区民の防犯意識の向上とあるんですけども、一番街頭で防犯であるのはひったくりなんですかね。女性がストーカーされるとかそういうのですかね。ひったくりが多いんですかね。効果的な啓発活動についてのアイデアというところで、ひったくりであれば高齢者の方がたくさん集まる場所で防犯のお話しされるとか、女性であれば高校生、大学生なり女性の多いところで啓発されるとかでまた変わってきて、このパーセントも変わるんじゃないかなと思うんですけど。一番必要な、街頭における犯罪という発生が多いのは何になるんですか。

【細谷課長】

一応、重点犯罪というのがございまして、ひったくり、路上強盗、自動車盗、車上狙い、部品狙い、オートバイ盗、自転車盗、これらが重点犯罪ということになっていまして、それらが警察も含めて頑張ってなくしていこうということになっています。ちなみに車上狙いなんかがやっぱり一番多いような数値になっております。

それと、伊藤委員おっしゃっていただきましたとおり、コロナもちょっと収まってきましたので、食サであるとかそんな機会を、食サで10分ぐらい話しにけえへんとか、ぴよぴよとか、子どもが集まっているからお母さんにお話しせえへんというふうな声をかけていただきましたら、我々喜んで馳せ参上させていただきますので、お誘いいただければと思います。

【伊藤委員】

分かりました。ありがとうございます。車上狙いというのはちょっと知らなかった。

【細谷課長】

ホームページなんかにも一応出ていますので、よろしくお願いします。

【伊藤委員】

最近カメラついている車も多いですからあれですかね。つけましようという、何かそういう運動ですか。

【細谷課長】

カメラというのはあれですか。

【伊藤委員】

ドライブレコーダーとか。

【細谷課長】

あまり警察は言わないですね。

【伊藤委員】

分かりました。ありがとうございます。

【細谷課長】

つけてみてください。よろしくお願いします。

【高野議長】

よろしいでしょうか。

お時間の関係で、以上で締め切らせていただきますね。また後ほどどうしてもありましたら、後ほど最後のまとめでご質問いただいてもいいかと思います。

それでは、1-3に移ります。安全で美しいまちづくりについて、こちらも事務局よりご説明いただきます。お願いします。

【三井課長】

事務局からご説明いたします。

4ページ、1-3、安全で美しいまちづくりのところですが、戦略の進捗状況につきましては、1-3-2、路上喫煙禁止地区の啓発におきまして、京橋地域の路上喫煙禁止地区が区民、来街者に浸透したとを感じる環境美化活動参加者の割合につきましては、51%の目標に対しまして27.5%となり、目標未達成となっております。

また、下の成果指標につきましては、区民アンケートで市民協働による啓発等の取組が区民や来街者の環境美化意識の向上につながっていると感じると回答した区民の割合が、令和5年度までに85%以上目標のところ、令和4年度、74%と、目標未達成となっております。

今後の取組につきましては、環境美化のボランティア活動参加者や区民へのアンケートでは、環境美化活動が区民の環境美化意識の向上につながっていると感じる割合が高く、取組自体の有効性はあるものの、環境美化活動参加者からは、京橋地域の喫煙マナーが十分に浸透していないという意見が多いことから、喫煙マナーの意識向上に向けた啓発活動及びSNS等を通じた情報発信の内容につきましては、喫煙禁止地区の全市域への拡大を踏まえまして、見直し等を行っていくこととしております。

こちらにつきましても、区政会議の委員の皆様から効果的な啓発活動についてのアイデアですとか取組などについてご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【高野議長】

ご説明が今ありました。それでは、こちらについてもアイデアとか、こういった取組をしていけば改善するんじゃないかといったアイデア、あるいはご質問ございましたらお願いします。

【早光副議長】

東都島地区一般公募の早光です。

安全で美しいまちづくりということで、今後の取組。この文言で喫煙禁止地区の全市域への拡大を踏まえた見直しを行っていくということで、以前からこの内容はよく出てくるんですけれども、2025年の万博に向けて

京橋駅周辺がハブの駅になるんでしょうけれども、この拡大というのはどれぐらいの時期を行政として考えられているんですか。2025年の直前にやってもあまり意味がないと思うんですけども、実際はどれぐらいのこと。2024年にやるのか、そういったことのめどはあるんでしょうか。もしありましたらお答えください。

以上です。

【細谷課長】

防災地域活性担当、細谷です。

たばこの全市喫煙については、万博までに全市喫煙禁止地域にしていくということになっております。それで、たばこをやめるということは、喫煙場所もやっぱり提供しなあかんということで、公設の喫煙場所を各区、区によって数は違います。大体2,000か所ぐらいつくらなあかんみたいですけれども、都島区では3か所増設するというような方向で動いております。場所については、誰も通らないところにつけてもしょうがないので、やはり都島区内であると京橋駅の周辺であるとか地下鉄都島駅の周辺、この辺りにやっぱり、3つつくるということであればその辺に設置しないといけないなということで、今我々、道路管理者、公園管理者、鉄道管理者、いろんなところと調整させていただいております。3か所、大体京橋で2か所というふうに今考えておりますけれども、あと都島駅のところで1か所というふうに調整を進めていっているところであります。

以上です。

【高野議長】

マイクをお回ししますので、江川委員、お願いします。

【江川委員】

一般公募の江川です。

私、世界ポイ捨て吸い殻アート協会京橋支部長でゴミ拾いをやっているんですけど、実際、京橋のごみってめちゃめちゃ減っています、今。たばこ。ただ、新京橋商店街のともとと貨物道やったところとかみたいな、ちょっと離れたところとかがめちゃめちゃ多いので、できるならそういうところ。あと、ライフのほうに行くまでの道とか、ちょっと離れたところがめちゃめちゃ多くて、あとの普通の道のところは、今ゴミ拾いしていてもめちゃめちゃ少ないので、そういうところにつくってもらえたら。一番まちのほうに行っても、そこにはあまり効果がないかもしれないので、ちょっと離れた。結構ゴミ拾いしている団体、京橋だけでも五、六団体あるので、そこに聞いてみて、その辺がいいとかやってもらったら、多分一番効果的な設置になると思います。

以上です。

【高野議長】

ほかに意見、ご質問等ございましたらお願いします。

数字が下がっているのはやっぱりコロナで人出が増えたというのは関係あるんですか。それとも、単に啓発がうまくいっていないからなんでしょうか。

【細谷課長】

防災地域活性担当、細谷です。

僕も学者じゃないので分析の仕方もちょっと難しいんですけども、僕なりに言い訳も含めて分析をしまして、やはり数字がちょっと悪くなっているのは、コロナもあって、なかなか我々の啓発の機会もないとい

うのが一つあると思うんですけれども、一番感じられるのは、コロナ禍の中で人は集まったらあかんとか、密になったらあかんとか、そういった中であっても我々が例えばクリーン作戦しようといったときに出てきてくださって掃除を手伝ってくれるという方は、やはり都島区というか京橋やったら京橋、大川やったら大川、淀川やったら淀川、この辺りにやはり愛着を持って掃除に出てきてくれる方々と思うんです。こんな中やのに、出てきたのに、せっかく出てきて掃除もしたのに、全然みんな分かってくれへんというようなことが数字にもしかして現れているのではないかなというふうに素人ながら分析しているところなんです。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。今のお答え踏まえて、またご質問等でも。

では、マイクをお返しします。谷委員です。

【谷委員】

淀川の谷です。

ちょっとたばこ吸わないので分からないんですけど、最近、電子たばこもあるので、それを吸いながら歩いてふわーっとなっているのは喫煙になるんですか。それがちょっと分からないので。それが増えていて、皆さん喫煙が増えているなど。吸わない人から見たら、歩きながら吸ってはるのかなというようなイメージがあるんですけど、それはどうなのでしょう。すみません、分からなくて。

【細谷課長】

喫煙になると思います。

【高野議長】

京橋で路上喫煙すると罰則を伴うんですか。それとも注意を受けるという。京橋地域ってそうなっているんですね。

【細谷課長】

今現在は1,000円徴収させていただくという形になっております。

【高野議長】

電子たばこでも1,000円の罰則規定に載るということです。ありがとうございます。

ほかにアイデア、ご質問等ありましたら。もう一方ぐらいかなと思いますけれども。なければ次の議題にしたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、ここまで3つ、令和4年度運営方針の自己評価についてご説明をいただいて、ご質問、それからアイデアをいただきました。ありがとうございます。

それでは、少し早いんですけれども、最後お一方ずついただきたいと思いますので、早めに次の議題に入りたいと思います。議題（2）です。区政に反映された主なご意見について、こちらも事務局よりご説明をいただきます。お願いします。

【三井課長】

事務局の政策企画担当課長、三井でございます。

引き続きまして、議題（2）、資料3のほうでご説明をさせていただきます。

区政に反映された主なご意見についてでございますけれども、資料にも記載しておりますように、現在の区政会議委員の皆様には、令和3年10月にご就任いただきましてから様々なご意見をいただいております。全てのご意見にすぐに対応できたというわけではございませんけれども、いただいたご意見に対しまして一定対応させていただきました内容について、経営課題ごとに抜粋しておりますので、ご報告させていただきます。

経営課題1、安全・安心のまちづくりにつきまして、猪原委員からいただきました防災に係る商店街での取組についてでございますが、区役所として、地域の防災訓練の支援や、人材を含めた地域資源を活用し、地域の防災力の向上に取り組むことが必要であることから、今後は、消火設備などの活用も含め、商店街が実施する防災訓練への支援を行うなど、連携しながら取組を進めてまいります。

次の経営課題2、人と人がつながり、助け合うまちづくりにつきまして、早光委員、濱崎委員からいただきました見守りにつきましてですけれども、右側のほう、区役所としまして、見守り活動が自主的かつ円滑に進むよう支援体制を整備する必要があることから、区役所が地域福祉コーディネーターや区社協と連携し、気にかける・つながる・支え合う見守り体制の充実を進めているところでございます。今後も地域福祉コーディネーター様のご尽力ですとか、外出機会をつくるための区社協が行っておられますおでかけスタンプラリーなどの取組と連携しまして、区民の皆さんの活動の場やつながりの場づくりに取り組んでまいります。

次の裏面のほう、経営課題3、明日に誇れるまちづくりにつきましては、中山委員、江川委員から、中学生の居場所づくりや、居場所づくり団体の連携についてご意見いただきました。区役所としても、学校内外で子どもを支える環境の充実が必要であると認識しており、小学生対象の小学生サポート事業を行うとともに、中学生の居場所づくりにつきましては、みやこ塾などの取組により対応してまいります。また、区内の居場所づくり団体のネットワークづくりを支援するなど、区社協等とも連携し、区内の居場所づくりの活動推進に向け取り組んでまいります。

最後に、経営課題4、区役所力の強化ですが、高田委員、中口委員から、地域活動への参加のための情報発信についてご意見をいただきました。区役所としても、全ての区民に行政サービスや地域活動の様子を分かりやすく情報をタイムリーに発信することが必要であると認識しており、広報誌での情報発信に加え、SNSによる情報発信も積極的に行ってまいりました。また、令和4年度にはInstagramの運用開始するとともに、ユーザーマネジメント等を行う株式会社FunMakeとの包括連携協定を締結し、動画による情報発信も強化するなど、幅広い層に情報発信できるよう取組を進めてまいります。

以上が、これまでにいただきました中から抜粋してご意見と区の対応をご説明させていただきました。区政会議委員の皆様におかれましては、先ほどの令和4年度事業の振り返りも含めまして、これまでの区の事業に対し様々なご意見をいただき、誠にありがとうございます。これまでの区政会議も含めまして、皆様からご意見、ご感想をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【高野議長】

ありがとうございました。今、区政に反映された意見についてと取組についてご説明がありました。

ここで、この件についてご質問、ご意見、抜粋ということでしたので、自分の言った意見が載っていないということもあったと思うんですけれども、自分の言った意見に関するものとか、あるいは載っている意見についてのまたご質問やアイデア等、何でも構いませんので、発言いただきたいと思います。そして、最初にご説

明しましたように、任期2年の終わり、そして4年された方は本当の任期の満了となりますので、順番に今回発言させていただきますので、そこで、ご質問でなくても感想、それからご挨拶だけでも構いませんので、恐らく準備いただいていると思うので、名簿順に順番に当てていきたいと思っておりますので、中口委員、中山委員、それから伊藤さん、熊本委員、山田さん、池田さん、そして副議長を最後のほうにさせていただいて、谷さん、江川さん、猪原さん、濱崎さん、早光さん、最後、私という順番でお話ししたいと思いますので、中口さんよりお願いいたします。

【中口委員】

桜宮の中口です。

何言うていいのか分からないんですけど、一つは今年の春に都島80周年になったときの広報誌に4名か5名の方が載っていたんですけど、僕からしてみたら、各地域活動協議会、9つあるのやから、9つ載せてほしかったなというのが一つあります。しかし、18年4月にどんな状態になって、それからどうなったかというのは、ほかの旭区にしても城東区にしても福島区にしても全部いろんなことを記事で載せてくれているけど、あそこにちらっと載っただけで、それで終わり。50年のときは懇談会して冊子出して、それは隣の図書館に行ったら見れるんですけど、そのときキーホルダーもつくって、区内でスタンプラリーもやって、僕ら一日スタンプ押すほうで前に座とったんですけどね。そういうのも、今は100周年の年しかせえへんのかなというただ一言あるんですけどね。

それとともに、全然関係ない話なんですけれども、4年で終わりなのでちらっと再度、前も聞いたんですけど、各連合とか地域活動協議会というのは小学校下で決まっているんですけど、今さっきからしゃべっておられる早光さんとか江川さんは、小学校下は桜宮なんです。そやけど、連合、地域活動は東都島なんです。こういうのは、都島でここ、東都島は17町会の町会長のところだけなんです。それともまだほかにあるんですか。僕はそれ知らないんですけど。そうやし何で、小学校下単位でやっていたら、子どもさんたちも小学校下で全部やっているのに、地域の活動はほかのところ行くというのは、何かおかしいなという。ほかの区はあるんですよ。まとまってしかできないところとかというのは僕知っているんですけど、都島ではそんな必要はないから、連合イコール校下イコール地域活動協議会、小学校でいいんじゃないかなと思うけど、なぜそのままでずっとほったらかしているのかというのが、25年前からのちょっと思ったことです。またこれ後で誰か説明してください。

以上です。

【高野議長】

それでは、担当課のほうから今のご要望やご質問、疑問についてお答えいただけましたら。まず、三井政策企画担当課長よりご説明があります。

【三井課長】

政策株担当課長、三井でございます。

まず、80周年の件おっしゃってくださいまして、ほかのところはもっと大々的にやっているということもおっしゃっていただいたんですけど、確かに50周年のとき、冊子もつくりまして、非常に大々的にやっていたところなんですけれども、60周年、70周年も小ぢんまりとやってきたところでして、中口委員もおっしゃい

ましたように、100周年のときは特に大々的にできればなと思っておりまして、今回、80周年は広報誌で、誌面の関係もありまして、その前に公募しておりました方から抜粋して掲載しているところなんですけれども、あとはユーチューブ等でも発信したいと思っておりまして、記念動画とか、あと区民祭りとかそういった区民の方が多く集まられるところでそういった80周年を迎えるという記念の話をさせていただければなと思っておりまして、今後、90年、100年、100周年に向けてはしっかりと準備していきたいなと思っているところでございます。

以上でございます。

【高野議長】

続いてお答えいただけるようです。

【松井課長】

まちづくり推進課の松井と申します。座ってご説明させていただきます。

先ほど中口委員からございました小学校区と地域との関係のお話、以前も中口委員から直接お伺いしまして、実際に私自身がその当時携わったわけではなかったのですが、当時いらっしゃった地域の方にそういうことのお問合せというか、事実があったのかどうかということを直接ちょっとお話をお伺いしまして、実際に確かに校区と地域が違っていたことがあったというのは、当時小学生でいらっしゃったということで覚えておられて、お聞きしていますと、当時、そのときの町会長の方々がいろいろお話をされて、合意というか皆さん納得の上で、桜宮地域であっても東都島の校区のほうの学校に行かれたということはあったというふうなことで、特にそれが大きな問題になったというふうなことはなかったよというふうなことで、ある一部の方だけですけれども、そういうお話は頂戴しました。あと、それ以外の地域にあるのかどうかというふうなお話でございますけど、そこはすみません、私自身はそういうお声を今まで聞いたことはございませんので、実際にあったかもしれませんが、ちょっとそこはお答えしかねるような状況でございます。

以上でございます。

【高野議長】

ということでした。以上でよろしいでしょうか。ありがとうございました。

では、続いて中山委員にご発言いただきたいと思います。

【中山委員】

中野まちづくりの中山です。

この小学生サポート事業はとてもいいことなので、ずっと継続して行ってほしいんです。学校へ行けなかった子が小学校を卒業して、今中学生になって、部活もきちんとできているということもお話で聞いていて、とてもいいことなので続けてほしいなと思います。

以上です。

【高野議長】

よろしいですか。4年、活動終えられましたけれども、ご感想など一言だけでもいただきたいんですが、いかがでしょうか。

【中山委員】

4年やって、やっぱり中学生の居場所というのがなかなかないというのがずっとあったんですけど、言い続けてよかったなと思っています。この小学生サポート事業も継続の子は中学生になっても行けるというのをこの間お聞きしたので、みやこ塾でお話聞いてもらえない子とかだったら、この小学生サポート事業のほうに行き、学校の不安だったりとかというのを聞いてもらえたらいいなとは思いますが、やっぱり中学生になったからというので子どもたちも行きづらいのかなというのもあると思うので、来てねとは一応言ってもらっているみたいなんですけれども、キズキさんのほうからは直接中学校には挨拶に行っていないというのも先日聞いたので、ちょっと中学生にも広めてほしいなというのはあります。ありがとうございました。

【高野議長】

委員を離れられても引き続き区役所のほうにお願いとか、また区のためにご尽力いただければ。ありがとうございました。

では、続いて伊藤委員、お願いします。

【伊藤委員】

東都島まちづくり協議会会計の伊藤といいます。

同じような感じなんですけど、私、子育てのほうに、主任児童委員で子育て支援のほうもしておりまして、あと連合子ども会もしております。その関係上、今現在の中学生、小学生のお子さんたちには居場所づくりは必要だなと思うんですけど、そこに至るまでにならないように、なるべく早い段階で私は食い止めていきたいと思っています。子育て支援もそうです。やっぱり虐待がないように。主任児童委員で、小学校で今お仕事しているんですけど、不登校の子もいます。そういう地域の目もやっぱり必要です。そのために連合子ども会もしております。ちょっと前までは青少年指導員もしておりまして、やっぱり子どもに関することを頑張りたいのに、コロナ禍で活動がなかなかできなくて、子育て支援でも集まることができない。家の中でお母さんが、赤ちゃんが外に出れなくて泣きわめくとかというの、ちょっとつらい話もお聞きしたりしますので、コロナ禍が収まってどうかな、来てくれるかなと思っていたんですけども、LINEでSNSで友達とつながってしまって、お母さんは家の中でそれが消化できてしまうので、お子さんと出かけても意味があるのかなという感じに今ちょっととなっているような気がします。活動が再開しているのに、一組、二組くらいしか来ない。ゼロ組のときもあるんです。そういうのがちょっと、コロナ禍が長過ぎたせいで、お母さんたちが出なくても家の中で子どもを遊ばせといたらいいいという感覚がちょっとついてしまっているんじゃないかなと思っているんです。それで、やっぱり未就学児の子だけでもそういう集まるイベントなり子育て支援なりを応援していただきたいのと、あと連合町会で、町会に入っていないと子ども会に入れなかったところの地区は多いので、ここで失礼ですけど、地活があったために町会に入らなくても地域のイベントにも参加できる、いろんなことしてもらえというのがちょっと定着してきてしまっているんで、連合町会に入る意味、子ども会に入る意味があるのかなと思い始めている方がたくさんいらっしゃいます。それで、連合町会のほうの担い手がやっぱりないという、今度そういう問題が起きてきてしまって、子ども会にも入らなくても、別に必要ないからということが増えてきているので、居場所づくりもすごく大切なんですけど、居場所づくりに行かないように、地域でやっぱり子どもたちを昔なら見守っていたので、そういう子ども会のほうの活動にも助けていただきたいなと思っています。よろしくをお願いします。

2期参加させていただきましたが、なかなかちょっと予定が合わずに欠席することもありましたけれども、東都島まちづくり協議会ではみんな力を合わせて頑張っております。主任児童委員としても子育て支援に頑張ろうと思っておりますので、これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

【高野議長】

ありがとうございました。引き続きそういった取組を事務局、また担当課としてもお願いしたいというご意見でしたので、また次年度の計画へ意見を必ず反映されて、反映というか考えていただいているイメージがありますので、伊藤委員の4年間のご活動と、そしてまたこれからの思いをぜひ酌んであげていただけたら幸いです。ありがとうございます。

では、熊本委員、お願いします。

【熊本委員】

西都島の熊本と申します。

私も2期で、今回が最後となりました。初めは見るもの聞くもの初めてのことがばかりで、何をしゃべったらいいのかというのですごく不安だったんですけども、自分の気になったところを調べたりとか、各委員の兼ね合いのあるところでいろんな人に助けてもらったり、意見を聞かせてもらったりで、大分理解できるようになってきました。慣れたなと思ったらもう最後になってしまいましたので、今まで本当にありがとうございました。

以上です。

【高野議長】

ありがとうございました。引き続き区のために、また指導員などいろんな活動をされて貢献されていくと思います。区政会議に4年間ありがとうございました。

では、続いて山田委員、お願いします。

【山田委員】

私も今任期4年間で終わる形でございます。ただ、それと、今現在、濱崎委員と同じように福祉コーディネーターをさせていただいております。これも定年を大きくオーバーしております。もう来年度は、あんたもういいよと言われる形で聞いております。この区政会議委員に連町を通してあんたしかおらんでという形で出させていただいて、いろんな方とこの場でいろんな地域のお話を聞かせてもらったことはすごく私自身の生活の中に大きな宝物になったかなと思っております。これからも地域のために、この場には出てくることはないですけども、これからちょっといろいろ地域でまた勉強させていただくと。あと地活協のほうも事務局のほうさせていただいておりますので、こちらのほうでまた頑張っていきたいなと思います。

一つだけお願いなんですけれども、内代のほうは小学生に向けて放課後事業というのがすごく充実しているんです。地活協のほうで、一つ小学校の時間外で立ち上げている事業がございます。そこは内代のほうはゼロなんです。なぜかという、学校の放課後事業では担当されている方が学校を使いますので、遊びから何から全て楽しく生徒さんとしておられるので、福社会館を使ってしているんですけども、福社会館まで、じゃ、終わって行くかというところまで。行かなくても学校で全部やってくれるからね。学校におれば安心という親御さんもたくさんおられますので、そういったところで内代のほうは地域活動協議会の子どものほうはゼロで、

来ていただいている方には申し訳ないんですけど、そんな状況が今続いております。これからも地活さんのほうでそういったものを取り込んでいかれると思いますけれども、内代はそういった方面ですごく充実しておりますので。よそさんのところは私全く分からないので、自分ところの地域だけのことしかお話しできていないんですけどね。そんな状況です。中学生についても、この中で見ていたらいろんな塾がありますので、それでいただいているかな、ありがたいなと思います。

それと、朝、私、小学生の登校で、毎朝7時50分から8時20分ぐらいまで、毎朝挨拶で立っているんですけど、当初、うちのエリア、立っているところから登校する生徒は30人ぐらいだったんですけど、朝、声かけしても全く知らんぷりして通っていく。でも最近、4年目させていただいているんですけども、やはり半分ぐらいの子は声かけしたら、おはようと言ったら、おはようございますという声が返ってきます。これはやはり学校の先生方の指導並びに地域のいろんな方の指導なりがあって、そういったものに声かけたら反応して返ってくるなと私もつくづく思っておりますので、ありがたいなと思っております。その辺が近況のところと、区政会議委員に入れていただいた結果でございます。ひとつこれからもよろしくお願いします。

【高野議長】

ありがとうございました。4年間ありがとうございました。山田委員にはたくさんご意見やご質問いただいたので、随分助けていただいたと思います。本当にありがとうございました。

では、お隣に行きまして、池田委員、お願いします。

【池田委員】

何を申し上げていいのか。本会はこの広い都島全体のことなんですが、我々は友渕、一町会として、町会員の減少に危機感を持っております。そのためにも、何とか増加していく方法はないのかと。そのためには防災に対しての意識を持っていただければなと思っております。それから、そういう存在をより気づいていただくということから、近所付き合いの基本である町会といったものの存在をもっと気づいていただきたいなと思っております。そのために、防災のワークショップというのは、町会の皆さんの多くの参加はもちろんのこと、新しい町会を増やすために、より具体的に我々は町会員に何とか施策を昨年から設けまして、それを具体的に進めていこうかなという考えを持ってやっています。私も今期で終わらせていただきます。年齢的に限界に来了いますので、次期は若いしっかりした人がなっていただきますので、頑張ってもらえると思います。どうもありがとうございました。

【高野議長】

ありがとうございました。

それでは、隣に行きまして次、谷委員にマイクをお回しします。

【谷委員】

淀川の谷です。

一番気になっているのは、やっぱり学校選択制になってから地域の子どもたちがほかの地域に通ってしまうということが多くて、子ども会が特に人数が減ってきて、行事も、子ども会がしていると、やっぱりその地域に住んでいてもなかなか参加できない。保険の適用もされないの、さすがに参加させるわけにはいかないということで、やっぱり他地域に通っていたらお断りせざるを得ない状況になってしまっているのが現状なの

で、何とか地域の子たちは地域で見守ってくださいと言っている割には、ほかの地域の学校へ行っていないですよと言われて、そちらへ行ったら、私たちの地域の者が目が届かないので、朝の見守り隊でも、立つ時間が7時50分からでも、登校する子たちは7時半ぐらいに行くんですね。親が送っていくのかなと思ったら、ついていないんですよ。独りで通っている子もいるので、やっぱりそういう現状、危ない目に遭わせているんじゃないかなという不安もあるので、そういうところはちょっと見直してもらいたいなというのがあります。

以上です。

【高野議長】

自分たちの地域でこういうふうに行っているとか、あるいはそういったことに対応する何かアイデアとかが担当課でありましたら。ありましたらでいいんですけれども、お答えいただいたら。またありましたらそのときでもいいので、今のご質問というか、どうしたらいいんだろうということに関してお答えいただければと思います。ありがとうございました。

では、続いて江川委員、お願いします。

【江川委員】

一般公募の江川です。

今、皆さん4年たって終わりと言っていたんですけど、私自身4年やって、1期空いたらまたできるので、私6年目なので、まだまだ次もやるかもしれないんですけど、だからまた2年見て、全然あかんわと思ったらもう一回出てくれるので、皆さん出てきたらいいと思います。

私自身は今回、区役所で子どもの居場所づくりで講演会をさせてもらったりとか、都島区の子どもの居場所の団体とつながって連絡会をつくったりとか、今期はいろいろできたなと思っていたんですけど、また来期もできたら、部外でやるかもしれないんですけど、今、子ども食堂を2か所運営していて、東都島地区の防災リーダー隊長もやっているの、子どもの防災関係、大人が災害のときに都島区におるか分からないので、小学生とか中学生の生活力をつけるためとか、その辺の担い手としてこれから子ども食堂とかけ合わせて防災関係をやっていききたいなと思っているので、また来年、区政会議委員か、一般、普通に活動している人間か分からないんですけど、またそういうのを一緒にできたらなと思っています。

以上です。ありがとうございました。

【高野議長】

ありがとうございました。

それでは、お隣、猪原委員、お願いします。

【猪原委員】

都島区商店街連盟の事務局をしています猪原です。

前回からの商店街の防災の取組というところではちょっと課題が残ったままです。今期はそういうのを理事の皆さんとやっていききたいなと思っております。商店街では結構皆さんご高齢化ということもありまして、新しい理事さんが今回3人替わったりしておりまして、結構変動の時期なのかなと思っております。それで、今後やっぱり若い理事さんをどう巻き込んでいくかということがテーマになっているんですけれども、そういうのも踏まえていろいろ皆さんで考えていききたいと思っております。4年間ありがとうございました。また何か、

ここに出てきていなくてもいろんなまちのこと、小さいですけども、何かご協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

【高野議長】

ありがとうございました。引き続きお願いいたします。

それでは、濱崎委員、お願いします。

【濱崎委員】

中野地域の濱崎と申します。よろしくお願いいたします。

私自身、高齢者の見守り相談受付という立場で仕事をさせていただいておりますが、最近やはり独り暮らし高齢者の方が大変増えておりまして、どこかに行って誰かとしゃべりたいという願いをととても聞きまして、本当に行く場所がない、一日家にいるんよと言って、テレビ見てんねんという方が、そういう方が気軽に、ちょっとあそこ行って誰かとしゃべってこようというような、例えば老人福祉センターであったり各会館であったり、気軽に、ちょっとあそこ行って何かおしゃべりしてみたいなという居場所づくりをぜひぜひいろんな場所で、行事としてではなく気軽に行けるような場所がたくさんできたらいいなというふうに思っております。私の中野地域の福祉会館が区役所のちょうどそばにあるので、割と区役所に行った帰りとか、近くのスーパーに行った帰りとかと言って、ちょっとしゃべりに来てんと言って、相談違うねんと言って来られる方が割と多いんです。あ、誰かとちょっとしゃべりたいねんなという感じで、すごくそういうご高齢の方の居場所づくりみたいな部分で、もう少し力になればいいなというふうに思っております。やっぱり一人の人を大切に、一人の人に寄り添っていくというのが一番の基本だと思うんです。

それと、私自身が委員にさせていただいて2年間、こういう場で意見言うのは苦手でありまして言えていないんですけども、やはり日頃から、委員になってからはちょっと問題意識を持って、ここの公園えらい草が生えているとか、手入れが行き届いていないとか、ここの道路の白線が消えていて、止まれの白線が消えていて危ないとか、それとか、空き家が多くて崩れかけているとか、道を歩いていてやっぱり様々な意識を持つと思うようになりました。委員になってから特に。だから、やっぱりそういう意見を反映させるような場所がこういう場所であるというのはとても大事なことだなと思います。

私自身、とても花が好きなので、区役所の前に花いっぱいとか、消防署の前に花がいっぱいとか、とても手入れが行き届いているのを見たら、やっぱり美しいまちというのにふさわしいなということで、やっぱりまちをお花でいっぱいにするというような感覚がもっと増えればいいかなというふうに思っております。

2年間本当にいろいろとお世話になりありがとうございました。以上です。

【高野議長】

どうもありがとうございました。

それでは、早光副議長、お願いします。

【早光副議長】

東都島地区一般公募、早光です。

4年前、初めて参加させていただいたときの議題を覚えておりまして、蕪村通り商店街の活性化という話があって、北のほうを観光資源にしようという話が出ていたんですけど、私は全然、江戸時代の人に何頼ってんね

んという話を最初にしたことを思い出しました。都島は三方を川に囲まれておりまして、非常に親水公園が多いので、それをもっと観光資源にして綺麗にしてやっていってほしいという話を4年前にさせていただいて、そういう話の中で、広報にもやはり大川の景色でランナーが走っているとか散歩しているとか表紙に使っていただいて、取り上げていただいたことはありがたいと思います。あと、そのときに出了のは、京橋駅のダイエー跡地の開発が4年後でも5年後でも楽しみですよねと。その頃京橋はどう変わっていますかねという話をしたことを覚えております。これから2年後、大阪万博があるので、ますますこの都島が綺麗に活性化されていくだろうと思いますし、もっと懸案事項は、ぽっぽてらすの活用をもうちょっと早くすべしやと。ずーっとぽっぽてらすで、いつまでぽっぽてらす。何かしましょうよと。川柳かダンス、何とかフェスティバルを何とかという話で、もうちょっと何か早くアクションを起こした方がいいんじゃないかと思います。私も2期4年終わったので、言っぱなしで行きます。

あと、最後に中口委員から東都島連合、17町会の校区と振興町会の区割りが違うと。ぼーっとして終わろうと思ったんですけど、非常に悩ましい。私、町会長で当事者になってしまいましたので、もうちょっと行政の方と相談して、あと町会の方も相談して、何とかいい方向に着地できればいいなど。非常に悩ましいので、ここが終わった後、町会に戻って考えます。今までありがとうございました。

以上です。

【高野議長】

それでは、最後に発言させていただきます。友渚町在住の高野です。

2年間終わりました。最初、このお話しいただいたときにびっくりしました。そういった区政会議というものがあつたのも、都島に引っ越してきて15年以上たっているんですけども、ずっと住んでいながらそういった取組をされているということを本当に知らなくて恥ずかしく思いましたし、また仕事がこうやって皆さんに意見をいただいたりとか話したりするようなことを仕事にしているものですから、そういったことも理由だったんですけども、最初、東都島のイベント、ひがみやまつりというのがあって、伊藤委員に最初お知り合いになって、早光さんともお知り合いになって、その縁でこういう人間がいるんだということを区役所のほうに知っていただいて、それでお声がけいただいて、こんな偉そうに、皆さんの取組に比べたら何もしていないんですけども、議長をさせていただいて、そういった仕切り、皆さんがご意見を言えるような、そういう仕切りはできなかったんですけども、2年間させていただきました。それでも、やっぱり全然ご発言いただけなかったら区政会議自体が成り立たなかったですし、コロナ禍でオンラインで聞きづらい中で参加していただいた委員の方もいらっしゃいました。そして、議員の方々にも遅くまで参加していただいて、いろんな意見いただきました。何よりも区役所の事務局の皆さんが真摯に意見を、それからアイデアを取り組んでいただいて、お答えをいただいていることについては区民の我々が力強く思ったりとか、手応えを感じて、いろいろ考えながら区政会議に臨もうと。そしてまた持ち帰って区民の皆さんも、各協議会の皆さんや区政会議の委員の方々と、区役所はこういうふうを考えているんだということを聞いて心強く思って、自分たちが住んでいるまちのことを誇りに思っているというデータがあつたんですけども、そういったことだと思います。いろいろと制約があつて難しいと思いますけれども、これからもこの区政会議が円滑に行われて、そういった意見が反映されるようなまちであればということを区民の一人として願わずにはられません。

また新体制になって、新しい方も入ってきて、2年された方も引き続きお力添えいただいて始まっていくと思うんですけども、4年間、区政会議に参加していただいた委員の方々には本当にありがとうございましたと申し上げたいと思いますし、私も力及ばずながら、また引き続き頑張っていきたいなというふうに思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、少し時間が遅くなって申し訳ないです。その辺も仕切りがよくなかったからだと思うんですけども、以上で質疑、ご意見いただいてまいりました。

それでは最後に、ご多用の中出席いただいた市議会議員、府議会議員の皆さんにコメントをお願いいたします。

市議会の岡田議員、大西議員、お越しいただきました。荒木議員、そして府議会の魚森議員の順にマイクをお渡ししたいと思います。

それでは、岡田議員からよろしくお願いいたします。

【岡田議員】

市会議員の岡田でございます。遅い時間までご苦労さまでございます。また、任期満了の委員の皆様、ありがとうございました。たくさんの貴重な意見をお聞かせいただきまして、市政、区政に生かしてまいりたいと思います。

先ほどちょっとお話ししていた喫煙所、こちらのほうも我々頑張ってやっているんですが、万博まで、2025年の3月までに120か所やろうと。それは今前倒しをしようとしていまして、80か所に関しては大阪市のほうで、40か所に関しては民間の力を借りてやろうとしております。その40か所の民間の応募をかけたんですが、今大体3倍ぐらいの応募が来ています。それほど皆さん、年間300億ぐらいたばこ税というのは大阪市に入っているんですが、そのうちの10分の1でも使って喫煙場所をしっかりとつくって、分煙とまちの美化というのをこれから万博が始まるまでにしっかりとやっていきたいと思っておりますので、そのあたりの意見もまたお聞かせいただければと思います。本日はお疲れさまでございました。

【大西議員】

市会議員の大西です。よろしくお願いします。

4年任期ということで、ありがとうございました。まずは感謝申し上げます。

私からは、今いろいろ出た前半に関して、防災とか防犯に関してなんですけれども、ハザードマップなどこういうのを私の事務所だとか、あとチラシとかああいうのに載せていこうかなというふうに思っています。そして、防犯に関して。これは区役所が防犯カメラを多くつけてくれるということで、期待しておきます。

そして、美化に関してなんですけど、私ども議員も大川の掃除だとか京橋の掃除だとかをさせていただいているんですけど、多くの方が親子で参加したりとか、そしてたばこやペットボトルなどがすごく多いです。やっぱり。公園の周りなども道路がありますので、あの辺にポイ捨てなどがやっぱりかなり多いということで、大川の掃除、そして京橋の掃除なども企業とか親子で参加されたりとかというので、ほのぼのとした掃除になっています。そして、美化に関してなんですけれども、企業なども参加していろいろ取組も進んでおりますので、今後ともよろしくお願いします。

この区政会議、町会に戻って皆さんご意見等、議論されたらどうかなというふうに思っておりますので、よ

ろしくお願いを申し上げます。ありがとうございました。

【荒木議員】

市会議員の荒木でございます。遅れて参りまして申し訳ございません。失礼いたします。

4年ぶりに帰ってまいりましたので、この4年間の議論、細かく聞いておりませんので、感想というのも、はっきり申し上げて何を申し上げていいのかよく分かりません。反対に委員の皆様方には日頃から地域のコミュニティ、そして福祉の向上のためにご尽力を賜っておりますことを、この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

以上でございます。

【魚森議員】

皆様、お疲れさまです。府議会の魚森ゴータローです。

本日は区政会議、令和5年度の第1回ということで、区長をはじめ議員団も新しいメンバーとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

課題など、大阪府で取り組めることは大阪府で協議していきたいと思っておりますので、引き続きご意見賜れればと思っております。

ちょっと1点だけ大阪府からのご案内をさせていただきたいんですけれども、物価高騰に伴って家計が負担増大しているというところで、特に子育て世帯においては家計に占める食費の割合が大きいということから、第一弾の子ども食費の支援事業を行っております。これの締切りが今週の金曜日までとなっておりますので、まだ登録が済んでいない方はぜひ申請をお願いしたいと思っております。基本的にはオンラインでの申請になるんですけれども、コールセンターもございまして、9時から18時まで、電話番号は0120-479-208であります。あわせて周知のほどよろしくお願いいたします。

最後に、今回で任期を終える皆様、本当にサポートいただきまして誠にありがとうございました。お疲れさまでございました。

以上です。ありがとうございました。

【高野議長】

岡田議員、大西議員、荒木議員、魚森議員にお話をいただきました。どうもありがとうございました。

それでは、最後に都島区藤岡区長からご挨拶いただきます。

はい、どうぞ。

【細谷課長】

一言ご訂正だけさせていただきます。

谷委員からご質問のありました加熱式たばこの件なんですけれども、ちょっと僕勘違いしておりまして、この3月に規制の対象にしたいというふうに本市の方針が決まっているという段階で止まっているということだけちょっとお知らせさせていただきます。すみません。

【高野議長】

加熱式の紙たばこだと1,000円の罰金だけど、電子たばこは、今は注意だけということですか。

【細谷課長】

まだ、はい。

【高野議長】

罰則の対象になっていない。ありがとうございます。

それでは、失礼いたしました。区長にご挨拶いただきます。

【藤岡区長】

皆様、長時間本当にありがとうございました。本日皆様から貴重なご意見をたくさんお伺いしまして、私たちも一人一人の日々の地域に密着した活動から来ているお言葉だと思いますので、真摯に受け止めまして、区役所として、また地域の皆様と一緒にできることを考えながら区政を進めてまいりたいと思っております。

私、初めて今日参加させていただいて、本当に皆様のそういった活動に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。

改選前の最後のご参加の会になるということで、本当に私としては残念なので、引き続き、お近づきになった証としまして、また何かお話ができる機会があれば本当に嬉しいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本当に長い間ご尽力いただきました議長の先生、そして委員の皆様には感謝申し上げたいと思います。本日は本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

【高野議長】

ありがとうございました。

本日予定しておりました議題は全て終了しました。皆様のご協力により議事が円滑に進みましたことをお礼申し上げます。

それでは、司会進行を事務局にお返しします。

【吉村課長】

本日は、議長、副議長をはじめ各委員の皆様方におかれましては、長時間ご議論いただきまして誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第1回都島区区政会議を閉会させていただきます。

なお、区政会議資料を事前送付させていただいた際にお問い合わせいただきました都島区区政会議に関するアンケートにつきまして、本日ご持参いただいている方につきましては、出口で回収させていただきますので、よろしくお問い合わせいたします。また、本日ご提出いただけない場合は、後日メール等でご提出をお願いいたします。

本日は長時間どうもお疲れさまでございました。ありがとうございました。